

まちづくりオープンミーティング意見概要（6/25両荘公民館）

西山地区では、宅地や田んぼ・山など、市街化調整区域に指定されているところが多く、農地の転用や新しく家を建てるのも難しい。少子高齢化対策の手立てとして、それらの制限を外してもらうことはできないか。
加古川市では、免許返納に対する具体的な取り組みなどはあるか。
神吉南町内にて事故が多いところが何カ所もあり、カーブミラーをつけてほしい。市と警察には依頼しているところだが、改めてお願いしたい。
加古川市では3歳児保育がまだ進んでいないが、3歳児に対する幼児教育に対してどのように考えているか。
ひきこもりや中高年、40～60歳の仕事に就けない人のために、市として対策していることはあるか。
粗大ごみの有料化などが進み、不法投棄に悩んでいる。軽トラ1台分のごみが農道に捨てられていることもある。対策をしてほしい。
指定ごみ袋の導入制度の目的は何か。導入することによってどのようなごみの減量の効果が見込まれるのか。
今後予想される小・中学校の統廃合などについて、心配している子育て世代が多い。今後、対象地域でオープンミーティングや説明会等を開催するのであれば、子どもの一時保育を検討してほしい。
小中一貫校にすると、一時的には児童・生徒数が増えたように見えるかもしれないが、結局、5年後、10年後には適正なクラス運営が難しくなるという懸念も出てくる。どのように考えているか。
少子高齢化が進むことで人口減少が予想されるが、人口が都市部に集約するのがいいのか、まばらに点在するのがいいのか、どのように考えているか。
両荘幼稚園の園児が減っているが、教育内容も施設も素晴らしいので、地域の保護者も園の存続を願っている。
Iターン・Uターンなどの観点において、人口を増やすために市としてはどのように考えているか。
両荘公民館の南側の県道が狭く、通学路として危険なため、対応をお願いしたい。
人口減少が進んで働き手が減るにつれ、ヘルパーの数も減少している。高齢者も障がい者も地域でいきいきとその人らしく最期まで過ごしていきたいという願いがあるが、ヘルパーの数を増やす取り組みを考えてほしい。
聖火リレーが市内を通ることとそのルートが決まったときいている。障がいのある人も参加できるようにしてほしい。